

# 信用保証トピックス (令和8年4月)

## これまでの振り返りと今年度の取組について

### ■保証承諾、保証債務残高、代位弁済の推移

#### ① 保証承諾の状況

- ▶ 令和2年度は、コロナ禍に伴うゼロゼロ融資等の大規模な資金繰り支援により、保証承諾が過去最大の1兆3,396億円となりましたが、令和3年度はその反動等により減少しました。
- ▶ その後、国の保証料補助が受けられる「伴走支援型特別保証制度」の取扱開始等により、保証承諾は一時緩やかに増加しましたが、令和6年度に同制度の取扱が終了し、保証承諾は再び減少傾向となりました。

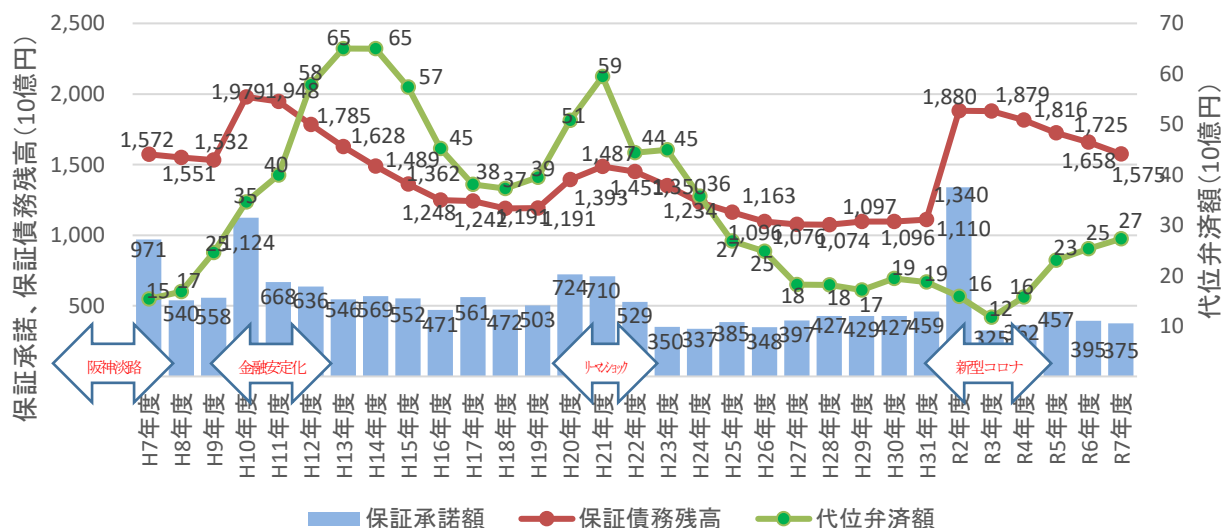
#### ② 保証債務残高の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の実施等により、令和2年度は1兆8,805億円となり、「中小企業金融安定化特別保証制度（金融安定化保証）」を取扱った平成10年度、同11年度に次ぐ過去3番目の水準となりました。
- ▶ 令和3年度はゼロゼロ融資の利子補給や返済据置等によって微減となるも、その後は、ゼロゼロ融資の返済本格化等により償還が保証承諾を上回り、保証債務残高は減少しました。

#### ③ 事故・代位弁済の状況

- ▶ ゼロゼロ融資の大規模実施により令和2年度は事故報告が大きく減少し、令和3年度の代位弁済は平成7年度以降最も低い水準となりました。
- ▶ しかしながら、ゼロゼロ融資をはじめとするコロナ関連融資による過剰債務を抱える事業者が多くいる中、原材料価格の高騰や人手不足の深刻化等を背景として事故・代位弁済は増加傾向に転じており、ゼロゼロ融資の返済が本格化した令和5年度はコロナ禍前の平成31年度を上回る水準となりました。
- ▶ 上記のように、現状、代位弁済が増加傾向にあります。今のところ過去の経済危機時の水準までには至っておりません。これは、ゼロゼロ融資の返済据置や利子補給などの支援措置のほか、当協会や金融機関による借換等の資金繰り支援やモニタリングに基づく経営支援の実施が背景の一つとして考えられます。

### 保証承諾、保証債務残高、代位弁済の推移



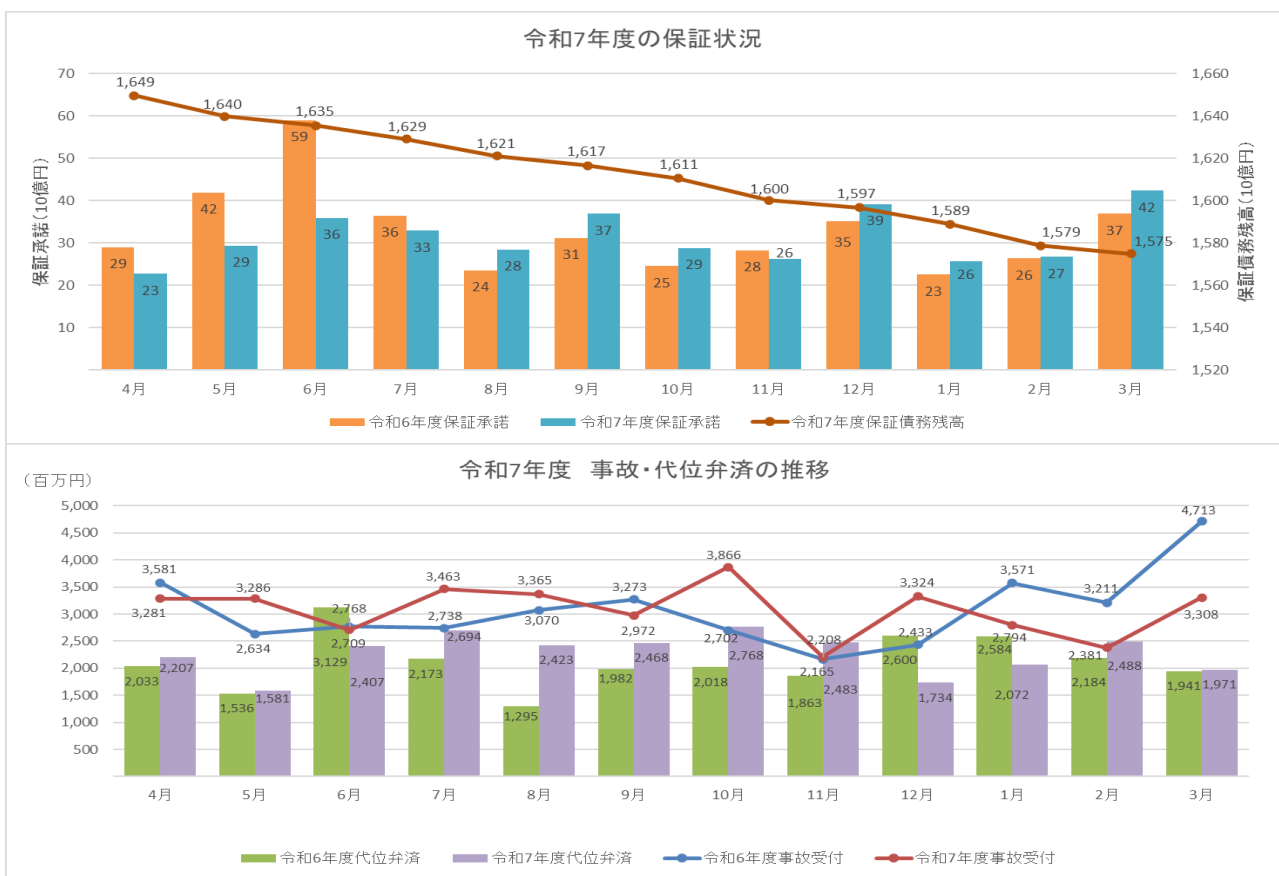
## ■令和7年度の状況

### ① 保証の状況

- 保証承諾は、令和6年6月に「伴走支援型特別保証制度」の保証取扱が終了したことで減少傾向にありましたが、令和7年3月に創設された「協調支援型特別保証制度」の影響もあり、前年同期比95.0%と概ね同水準で推移しました。
- 保証承諾の減少やコロナ関連融資の返済本格化により、保証債務残高も減少傾向で推移し、前年同期比95.0%となりました。

### ② 事故・代位弁済の状況

- 長期化する物価高等の影響により、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事故報告の受付は前年同期比100.3%と微増となりました。
- 代位弁済は、前年同期比107.7%と増加しましたが、過去の経済危機時と比較すると増加幅は緩やかになっています。これは、返済据置や利子補給、さらには借換等による資金繰り支援や経営支援が要因の一つと考えられます。



## ■令和8年度の当協会の取組

- 物価高や人手不足の深刻化、不安定な国際情勢など事業者を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。県内の倒産件数も増加傾向にあるなど、今後も事故・代位弁済の増加が懸念されます。
- 当協会では、資金繰り支援にとどまらない、一歩先を見据えた早期の経営支援に取り組むため、金融機関や関係機関と緊密に連携し、以下の項目を重点的に実施します。

- ✓ 保証時の実地調査と保証後のモニタリングによる「対話型支援」を推進し、事業の継続、発展に向けた事業者の取組を後押しします。
- ✓ 協会が主体となった「フォローアップ型」経営支援を推進し、状況の変化を早期に捉えるとともに、個々の課題に応じた支援策を提案します。



兵庫県信用保証協会

TEL078-393-3922 (総務企画部 企画調整課)